

# 会報

冬  
No.168

2015.1

一般社団法人北海道電業協会



目 次

年頭ごあいさつ	1
.....北海道開発局 営繕部長 吉野 裕 宏	
平成27年の新春を迎えて	2
.....(社)北海道電業協会 会長 大房 孝 宏	
新春特集	
「旭山動物園を訪ねて」	
.....旭山動物園 副園長 中田 健 裕	3～7
平成26年度経営者懇談会・セミナー	8～9
平成26年度「公共建築の日」イベント	10
平成26年度北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会	11
平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会	12
会員大会旗が北海道支部(27年度開催地)に伝達される	13
ーシリーズー 1/212だより	
ひと・まち・自然きらめくオホーツクの中核都市～北見市～	
.....北見市長 櫻田 真 人	14～15
人輝き、笑顔あふれるまち・もせうし～妹背牛町～	
.....妹背牛町長 寺崎 一 郎	16～17
分離発注訪問記	18
現場からこんにちは	19
厚生委員会行事報告 歌唱部会	20
ボウリング部会	21
ゴルフ部会	22
ーシリーズー「私のいちおし」	
日本電設工業(株) 北海道支店	
執行役員支店長 野本 徳 明	23
ーシリーズービジネスマンはこれを読め!	
(株)久住書房	
社長 久住 邦 晴	24
業界だより、理事会・三役会・委員会報告	25～26
事務局日誌	27
一般社団法人 北海道電業協会活動スローガン	28
編集後記	



## 年頭ごあいさつ

北海道開発局

営繕部長 吉野 裕宏 (よしの やすひろ)

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人北海道電業協会の皆様には、国土交通省における北海道開発行政、とりわけ官庁営繕行政の推進に当たり、平素よりご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

北海道開発局営繕部では、道内に所在する官庁施設（国の建築物）の整備と、これら官庁施設が常に適正な機能・性能を維持できるよう国の出先機関に対し保全指導を行うなど、官庁施設に関する指導・監督を行っております。老朽化した施設が増大していく中、既存官庁施設の有効活用を図りつつ、災害に対する安全・安心の確保等に的確に対応することが求められております。このため、平成27年度の官庁営繕概算要求に当たっては、「防災・減災対策」と「老朽化対策」を二本柱として重点化を図っております。

防災・減災対策としては、官庁施設の耐震化を進めるとともに、地域と連携した防災拠点となる官庁施設の整備、新たなまちづくり空間やにぎわいの創出等により、地域の活性化に積極的に貢献することとしております。

老朽化対策としては、国土交通省インフラ長寿命化計画に基づき、既存官庁施設においてハード・ソフトの両面から長寿命化を図ることにより、安全により長く利用しつつ、トータルコストの縮減等を実現することとしております。長寿命化という観点からも、電気設備関係の企業・技術者の方々の役割は今後ますます重要となります。特

に、修繕・改修工事の技術力には新築とはまた異なる技術力やマネジメント能力が求められ、維持管理においても設備機器の効率的な運転など、積雪寒冷地という特質も踏まえ、皆様の持てる力を一層発揮していただくことを期待しております。

また、改正品確法が平成26年6月に施行され、公共工事の発注者は、公共工事の品質確保の担い手の中長期的な育成及び確保に配慮しつつ、発注関係事務を適切に実施することが求められております。北海道開発局営繕部といたしましても、公共建築における円滑な施工確保対策については、最重要課題として取り組んでいるところであり、公共建築相談窓口を通じた相談を受付対応するとともに、工事の発注に当たっては、見積活用方式の積極的な活用、工事の実績要件等の緩和、書類の簡素化などに取り組み、施工に当たっては、受注者の方々と連携をとりながら施工品質の確保に取り組んでおります。

こうした取り組みを進めるに当たっては、受発注者間でお互いに意思疎通を図り、技術力の向上とともに相互に理解を深めることも大切だと考えておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、北海道の将来にとって希望の年となりますよう祈念するとともに、皆様の更なるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。



# 平成27年の新春を迎えて

一般社団法人 北海道電業協会

会長 大房孝宏

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、著しく変化する社会情勢下ではありますが、ご家族お揃いで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、安倍総理が今年10月に予定していた消費税率引き上げの延期を表明して衆議院を解散し、年の瀬に総選挙が行われるなどあわただしい年でしたが、一方では、日本の匠の技を生かして生命起源の解明に挑む「はやぶさ2」が多くの職人の夢と思いを乗せて打ち上げられました。

また、全国で台風や大雨、地震、火山噴火といった自然災害が多く見られ、道内においても8月の礼文町や稚内市の「50年に一度」の大雨に続き、9月には札幌市など石狩地方全域に大雨特別警報が出された年でもありました。

さて、道内の景気は、建設投資の拡大や観光客数の回復に牽引され、概ね堅調に推移しており、先行きについては公共事業に先細り感はあるものの、民間設備投資や観光などを中心に緩やかな持ち直しが見込まれています。

こうした状況の中、我々電気設備工事業を取り巻く環境は、東日本大震災を契機に公共施設をはじめとする防災機能の強化や原子力発電所の停止による省エネルギー対策の促進や再生可能エネルギーの導入拡大などにより少しずつ変化を見せてきております。また若年入職者の減少とベテラン技術者や技能者の高齢化により長年培われてきた技術・技能をいかに的確に承継していくかという喫緊の課題もあります。

一方、北海道の今冬の電力供給は、泊原子力発電所が稼働できない状況において、引き続き無理

のない節電をお願いしながら火力を主力電源にして支えることになり、その結果、電気料金は高止まりになっています。我々は従来から省エネや再生可能エネルギーの活用を進め、低炭素社会の実現に向けて努めておりますが、今後の再生可能エネルギー買取り制度の見直しや「電力システム改革」の動向に注視つつ、引き続き適切な対応を取っていく必要があります。申し上げるまでもなく、電気設備工事業界には、こうした厳しい環境の中でも電気設備の設置とその保守管理などを通じて、北海道の産業・経済や道民生活に直結するライフラインを担い、顧客に対しては良質な設備を提供するという重大な使命があります。

当協会がその使命を全うする上で「優秀な人材の確保と技術・技能の継承」、「適正な価格と適正な工期での受注の確保」、「工事の品質と価格の透明性を確保し、顧客に満足度の高いサービスを提供する分離発注の推進」、「電力供給事情の変化と節電ニーズに対応し、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用積極的に貢献」を活動目標に、今後とも会員が丸となって知恵を出し、力を合わせて「夢と生きがいのある電気設備工事業界」を目指して諸課題に挑戦していきましょう。

また本年10月1日(木)に(一社)日本電設工業協会会員大会が札幌で開催されます。有意義な大会となりますよう当協会が協力し万全の準備をして参りますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、会員各社の益々のご繁栄と皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げますと致します。

# 「旭山動物園を訪ねて」



## 旭山動物園 副園長 中田 健裕氏

旭山動物園の副園長を務める中田健裕氏を訪ね「旭山動物園が全国的な注目スポットにまでなった取り組みなど」についてお話を伺いました。

- 日 時 平成26年 8 月 5 日(火)
- 場 所 旭山動物園 会議室
- 出席者 旭山動物園 中田副園長
- 電業協会 小笠原広報副委員長 嶋津・伏木・内川・大塚・木村・佐藤・松岡の各広報委員 類家事務局長

### (小笠原副委員長)

本日はお忙しい中、お時間をとって頂きありがとうございました。北海道電業協会では地域の話の提供に取り組んでおります。灯台下暗しの諺のように、私たち北海道民が北海道のことを知っているようで知らない部分も見受けられます。

地元をよく理解し、楽しむことが我が故郷を元気にする元となり、そのことが地域経済の発展、更には業界の発展につながるものと思います。各地の芳しい香りに感動する一環として本日は旭山動物園を訪れた次第です。

まずは、旭山動物園の経緯についてお話をお聞かせください。

### (中田副園長)

当園は旭川市が設置をし、旭川市が運営をしている公設公営の動物園として昭和42年に開園いたしました。今年で47年目になりますが、あくまで市民のための動物園、どこもそうなんです、レクリ

エーションの施設としてスタートいたしました。

実際にスタートして数年は50万前後の入場者数で推移しておりました。その後、市民から大型施設とか遊園地といった施設が望まれるようになり、レジャー時代という背景もあり、当園もジェットコースターとか、観覧車等の遊具とかを設置しながら、市民のレクリエーションの場、レジャーの場ということで、運営してきました。

開設当初から予算は自分たちで稼いで自分たちで使うという特別会計事業として、運営する施設なので、収入が減り、赤字になった部分は市税の方から補填をして頂くことになります。最初50万人前後の入園者が来ていた時は良かったけれども、その後入園者が減っていき、税金投入という事がずっと続いて、市を頼りにしないとやっていけない状態がしばらく続きました。

### (小笠原副委員長)

そこで、何か工夫をされたのでしょうか？

### (中田副園長)

やっぱりお金がないと、十分に新しい動物を入れられないし当然施設整備も進まないということで、いろいろ工夫をしていかなければならない状態が続いていました。先輩飼育員たちが「ここで一発、何かを変えなければならない」との思いから、いろいろ工夫をして、動物の行動を引き出すという、新たな展示スタイル、後から行動展示と言われるものですが、それを「やってみよう」とアイデアが出されました。当時飼育員というのは本当に職人さんで、動物の世話だけ、できればいいや、というような感じの仕事をしていたんです。

### (小笠原副委員長)

平成18年の日本電設工業協会会員大会が札幌で



開催され、その際、当時の小菅園長にご講演をいただきたいへんお世話になった経緯があります。

**(中田副園長)**

当時飼育係の係長だった、小菅正夫前園長が「われわれは飼育係ではないんだ。飼育展示係だ。あなた達は動物の特徴を上手に、相手に伝える努力をしなければならない。それをしっかり行うということが、あなた達の役割なんだよ」

「これからの動物園は、そういう役割をしっかりと果たしてこそ、動物園としての本来の役割を果たせるようになるんだ。単なるレジャー施設で終わるのではなくて、教育施設、研究施設、そういった形で動物園を残していくという努力を怠ってしまっただけではこの先動物園は、時代遅れになる」などと強く飼育員たちへ呼びかけました。

**(内川委員)**

その呼びかけに対して飼育員の方の反応は如何でしたか？

**(中田副園長)**

そこで先輩飼育員たちが始めた一つが、皆さんの前で自分たちの担当する動物をいろいろ解説する「ワンポイントガイド」です。

動物の行動や習性というのが一番よく見られるのは、やっぱり餌を食べる時なんです。動物は食べるって言うのが最優先課題になっていますので、動物が餌を食べる様子を見せること、また動物本来の習性を引き出すといったことを狙って行なうワンポイントガイドがスタートいたしました。

二つ目が、動物そのものを見ていただくにはどうしたらいいか？というところから生まれた「行動展示」です。その取り組みですが、当時の菅原功一前市長が、科学館・水族館好きの方でしたが、当時の小菅前園長が「水族館を作るくらいだったら動物園にお金を回してほしい」ということでもうじゅう館ができました。

そこで「どうやって見せたらいいんだろう？動物の行動をうまく引き出すしかけていうのを、どうやって盛り込めばいいんだろう？」という工夫を命じられたのが、今の園長の坂東元になります。坂東園長がすべていろいろな展示のアイデアを盛り込んで整備を行って来ました。

その行動展示ですが、動物の行動をうまく引き出すしかけを、坂東園長がいろいろ工夫をして実

施したのは、先例のないことばかりなんです。

他でやっていることはやりたくないみたいな考え方があって「新しくて違ったことをやろう」と動物の行動、本能を引き出すことを第一のテーマとして施設整備を行いました。

その特徴は、動物との距離感です。実はどの施設も、動物との距離がすごく近い施設になっております。ガラス一枚とか、そういったところは他の水族館でもありますが、当園の場合、オリがあっても動物との距離が凄く近いところです。

オリのふちに無理して手を伸ばせば、触られるんじゃないかっていうくらいの距離感。「その先にはトラがいる」という絶妙な距離で、動物たちの雰囲気や人間を人間の五感で感じられる距離感を持っているというのが一つの特徴になっております。



もう一つは、動物たちの行動を引き出すという行動に着目しているものですから「動物の行動がうまく引出せれば良い」ということです。どの施設も実はほとんど人工物を使って整備されています。結局お金があって今風の動物園になりますと、実は生態展示という展示スタイルがあるのですが、それは動物自体の生息環境をそのまま切り取ってきて皆さんにお見せするものです。

アメリカの動物園では、動物たちが生息しているサバンナならサバンナの環境、ジャングルならジャングルの環境を切り取ってきて展示をする。その中に動物たちがいるという。見た目がジャングルの中に入り込んでいて、動物たちの行動が見られるというスタイルの生態展示を取っています。

当園のスペースは15ヘクタール、15万平米くらいの施設で、旭山という山の斜面を利用して造っているため、実は水平方向にはすごく面積が狭い

動物園なんです。生態展示のような、何か風景を切り取ってきて、広大な景色で動物を見ているというスタイルがとれません。

どちらかといえば、斜面を上手く利用した垂直方向で整備をしている施設が多いです。

園内の中に入って見て頂ければわかると思いますが、大体一階、二階のような上下の階層で施設を設備しており、展示スタイルも高さを上手く使っております。

たとえばアザラシにつきましては、上と下のプールを上手く繋いでそこを泳いでいく様子を見てもらう。ペンギン館にしても水中に入っていく、もうひとつは陸上の様子を見るというように、山の斜面の高低を上手く利用した施設のデザインになっております。

#### (木村委員)

入園者数が全国一位と言われたことがありましたね……。

#### (中田副園長)

当園は一時期300万人を越える入園者数が記録されています。その当時は一年間で全国一の入園者数になった内容で報道や紹介がされていますが、実はそうではなくて、夏場の7月と8月の月間で全国トップになったというのが事実です。

年間入場者数でトップなのは上野動物園さんです。周辺人口1千5百万人に対し旭川だと約50万人くらいですから、数で勝負しても仕方ない話です。実際の数というよりは割合で見ただければ当園がトップでしょうか。ただ当園がこれだけ評価を受けているということは、やはり他にはない行動展示という、動物の行動に着目し、実際に動物たちが動き回るといった環境をうまく作りだせた事だと思えます。

しかし、ここ3年ばかりは160~165万人の間の数字で推移してきていますので、大体評価は定まっただろうなと考えております。

それだけの入園者が来たというのは、行動展示スタイルの他に、マスコミの方が当園の良いところや面白みを取り上げて宣伝してくれた事が一つあります。

そして、各旅行会社が旅行商品としてうまく旭山動物園を観光スポットとして組込んでくれたことが、飛躍的に入場者数を伸ばす成果につながったと考えております。

#### (伏木委員)

現状についてはどうお考えですか？

#### (中田副園長)

特別会計事業としての収支面から見ますと180万人くらいの入園者数になれば収支はちょうど良い状況になります。今は若干下回っている状態となっているので市税の方からの手助けが必要な状況となっております。

実際に300万人が入っていた頃というのは億単位の黒字になっていました。そういった点でも公設公営の動物園が億単位の黒字を出すっていうところでも、また違った意味で評価を頂いていたというところになると思います。



入園者160万人という現在の数なんですが、顧客満足度ということ考えたときには、今くらいの数字が一番いい数字だと考えております。実は300万人が来た時というのは、トイレを使うにしても数が少ないので、待つだけで一時間、ご飯を注文して出てくるのも一時間かかってしまう、休憩所に座りたい人も座る場所もない。

また、子どもたちの声が聞こえるのではなく、大人の声がすごくよく聞こえる。だいたい遊園地を併設していると、たいてい子どもの「キャー」って声がよく聞こえたりしているのですが、当園はどちらかという大人のおお～って声がよく聞こえる当時の状況でした。

特に動物園の目的、存在意義みたいなもの考えた時「ほとんどマイナスの状態であったのではないか」そのように現在は分析しています。

施設の改善として後追いはなっていました。長蛇を解消するためにトイレ設備、休憩所などの設備を毎年設置しました。現在、ようやく入園者数に対しちょうど良いバランスになったと思

っております。

**(佐藤委員)**

子どもから聞いて欲しいと言われていることがあって、質問をします。

飼育員さんになるためには、獣医さんの資格が必要かと思いますが、他に何が必要ですか？

**(中田副園長)**

実は獣医は園長と、ほかに若い獣医が2人いるのですが、それ以外の者はみんな何の資格もございません。

公設公営ということで旭川市が設置して運営している動物園なので、実はみんな公務員です。旭川市の職員の採用試験を受けて、たまたま配属先が動物園ということだけです。飼育に携わっている人は、実は学校の用務員さんが前職でしたという人もおりますし、ゴミ収集車に乗っていたという人もおります。

**(佐藤委員)**

もともと、動物園の仕事をやりたいから就職したわけではないんですね？

**(中田副園長)**

そうですね。「旭山動物園の飼育員になりたいくて来ました」って人はほとんどいません。

「うちの動物園に来たい」ということであれば旭川市の試験を受けてもらうと良いですね。

動物園は公設公営のところが多いので、その市町村の職員が配属されていることが多いです。また、指定管理者制度が導入されているところもあるので、その指定管理の仕事を受託する団体や会社のほうに入って行くという道もあります。また動物に携わる民間施設がありますから、そこに直接就職する。あとは、獣医になるというのは手取り早いんですね。

**(木村委員)**

一日の餌代はいくらになりますか？

**(中田副園長)**

一日あたりでは計算しづらいですね。実は動物は種類によって一週間に一度しか餌を与えないの也有りますし、毎日与えるの也有ります。年間ですと、約3,000万円くらいかかるかと思いますが。実は餌にはすごく気を遣っております、野菜類に関しては、スーパーに並んでいる野菜と同じ品質のものを必要な量だけ毎日仕入れています。形はいろいろ不揃いがあるので、商品価値という点

でいえばスーパーの品物には劣るかもしれませんが、鮮度の部分に関しては、みなさんがそのまま口に入れられるものを与えています。

あとは干し草、牧草みたいなものも、仕入れていますし、ペレットって言って、ドッグフードみたいに栄養バランスが調整されたものも与えています。

**(大塚委員)**

ライオンは高い牛肉よりも、安い鶏肉とか豚肉とかを食べさせているのですか？

**(中田副園長)**

猛獣類に関しては、馬肉を中心に与えます。あとは鹿肉です。動物は骨付きの状態が一番喜ぶので、骨盤の部分だとか、背骨とか、そういったところを与えています。またアザラシとかペンギンは魚を主食にしますので、年間決まった数だけ定期的に入れてもらえるよう契約しております。サイズも揃えてもらわないとならないため、冷凍ブロックの状態です。

水は、水道水になってます。ペンギンが泳いでいる水も水道水、アザラシが泳いでいる水も水道水です。



**(松岡委員)**

水道水は調整しなくても大丈夫なのですか？

**(中田副園長)**

魚とは違うので大丈夫です。ただペンギンは海水の中で行動して、自然と塩分を体内に取り込んでいます。余分な塩分は体内から出す腺から出しています

当初、水道水を使っておりましたので、ペンギン館ができた頃、けっこうペンギンがバタバタと死んでしまうことがありました。それで当時、獣医であった坂東園長と当園の研究メンバーで研究した結果、体内の血中の塩分濃度が低くなりすぎて、それで死んでしまうということが判明いたしました。

それで当園は塩分補給を餌に塩を混ぜて、やっていくという形を取っています。



**(嶋津委員)**

最後になりますが、入場者数でいうと160～170万を維持していくため、今後の旭山動物園の戦略あるいは新たな取り組みなどがあれば教えてください。

**(中田副園長)**

年間160万人くらいでここ3年くらい継続していますから、当園が伝えるべきことをきちんと伝えていけば、それが一定の評価が得られると思っています。これからどんと落ちることは多分ないという見方をしています。

当園では元々ソフト事業でスタートしている動物園ですので、ハード事業というよりはソフト事業を今後もしっかりと継続してやっていきます。

そして多くのお客様とコミュニケーションを密にすることによって、旭山動物園のファンを増やしリピーターという形でおいでいただく取組をこの先はやっていくことになろうと思います。

子供たちのために、飼育スタッフが幼稚園・保育所に行って紙芝居をやって、動物園の情報をわかりやすく伝える印刷物も配布してくる活動をずっと続けて来ています。

去年、160万人の入場者数くらいに落ち着いた頃から、また市内の小学校、幼稚園、保育所が遠足場所として利用してくれるようになりました。春先など季節のよい時期に、子どもたちがお母さんと一緒に遠足に来る環境がようやくまた戻って来たなという状況になっております。そういった意味でお客様の満足度あるいは園内での快適度は上がって来ているのかなと考えているところです。

**(委員一同)**

本日はお忙しい中ありがとうございました。

**【入園料】**

おとな（高校生以上）	820円
こども（中学生以下）	無料

**【開園時間】**

〔夏期〕

H27年4月29日(水)～H27年10月15日(木)

午前9時30分～午後5時15分（入園は午後4時まで）

H27年10月16日(金)～H27年11月3日(火)

午前9時30分～午後4時30分（入園は午後4時まで）

〔冬期〕

H26年11月11日(火)～H27年4月7日(火)

午前10時30分～午後3時30分（入園は午後3時まで）

※上記期間の詳細は動物園に確認願います。

〔休園日〕

H26年12月30日～H27年1月1日

H27年4月8日～28日



**入園での注意事項**

- ・ ペットを連れて入園できません。
- ・ 火気は使用できません。
- ・ 写真撮影はストロボの使用制限されている場所があるので気をつけましょう。
- ・ 園内には坂道が多いので、歩きやすい靴をはいて出かけましょう。

## 平成26年度経営者懇談会・セミナー



平成26年11月10日(月)13時30分から札幌グランドホテルで「平成26年度経営者懇談会・セミナー」を開催し、会員代表者など58名が参加した。

はじめに、大房会長から電気設備工事業を取り巻く環境にふれ「技能者不足や建設コストの上昇などいろいろな問題が発生しており、公共事業をはじめとして、工期の遅れや入札不調などが懸念されている。」さらに「若年入職者の減少と社員の高齢化が着実に進んでおり、ベテラン技術者や技能者の退職によって、長年培われてきた技術・技能をいかに適切に承継していくかが大きな課題である」として「電気設備工事業も、維持更新時代、低炭素社会、そして循環型社会における多様な社会的ニーズに

しっかりと対応できるように経営基盤の強化、技術力の強化を図っていくことが必要である」と挨拶された。



大房会長 挨拶



橋本講師

経営セミナーでは、建設業における「地域建設企業向け初めてのBCP～事業継続計画とは～」と題して、(株)建設経営サービス主席コンサルタントの橋本秀和氏を講師に招き講演

いただいた。

講演では、BCPに取り組む意義や事業継続計画書の具体的な作り方、すでに取り組んでいる事例紹介などをパワーポイントを使ってわかりやすく説明。最後に、まとめとして「BCPをできる事から始めよう。BCPは経営戦略、それを考えるのは経営者である」と呼びかけた。

### **BCP (Business Continuity Plan) とは**

企業が災害等で被害を受けても重要業務を中断させないこと、重要業務が中断した場合でも中断によるリスク（顧客の競合他社への流出や企業評価の低減等）を最低限に抑えるための事業継続計画または計画書のこと

## 平成26年度経営者懇談会



平成26年11月10日(月)経営セミナーに引き続き「平成26年度経営者懇談会」を会員代表者など47名が参加して開催された。

本懇談会については、当協会を取り巻く諸問題、協会事業に関する意見や提言を頂き、今後の協会事業に反映し、更に会員代表者相互の意見交換の場として開催している。

はじめに、大房会長から少子高齢化による技術者不足が問題となっていることに言及し、「改正品確法では業界側が担い手を中長期に確保できるよう、適正な予定価格や工期の設定などが明記された。発注機関に徹底してもらえるよう要望しながら、業界の健全な発展につなげていきたい」また低炭素社会の実現に向けて「原発が停止して電力供給が非常に不安定になり、火力発電に電源がシ

フトしたことにより、電気料金は高止まりになっている。省エネや再生可能エネルギーの活用についてこれからも顧客への提案などを通して電気設備工事業界として貢献していきたい」と挨拶された。

つづいて、小川専務理事の司会で議事進行となった。(議事次第参照のとおり)

### 【平成26年度経営者懇談会次第】

1. 関係官公庁との意見交換会の開催概要について
2. 平成26年度会員大会決議事項等について
3. 平成27年度会員大会の開催準備状況について
4. 各地区協会の活動近況報告
5. 協会事業に対する意見・要望事項

(フリートーキング)

懇談会終了後は、交流会となり会員相互和やかに親睦を図った。



帯広地区協会からの活動報告をする  
帯広電業協会の坂井理事



交流会の様子

## 平成26年度「公共建築の日」イベント

### 「公共建築の日」フェスティバル2014 in モエレ



このイベントは、北海道開発局が主催し北海道、札幌市、当協会など、自治体や各種団体が後援するもので、生活に密接に関わっている公共建築が果たしている役割などを、子供から大人まで幅広い市民層を対象に参加型イベントを複合的に開催する事で、公共建築に理解と関心を持ってもらう事を目的として毎年開催されています。

当協会では4名のスタッフが、10月4日(土)に開催された「ものづくり体験コーナー」に参加しました。このコーナーは、コンセントの延長コード作りと、電線を使って昆虫やメガネなどを自由に作ってもらい、持ち帰ってもらう事で、子供たちに建築設備に少しでも興味をもってもらうことを目的に実施しています。

また、参加型イベントとして、「ダンボールシティ」では、家庭ではできない大きな建物づくりを行うことで、作成の楽しさから建物にも興味をもってもらうことを目的として、開発局が担当して実施しています。

【開催日時】 平成26年10月4日(土)  
                  〃          10月5日(日)

【場 所】 札幌市東区モエレ沼公園  
                  ガラスのピラミッド内

#### 【参加スタッフ】

(株)北弘電社

・内川 勝哉      ・友重 陽介

北海電気工事(株)

・畠山 真一      ・佐藤 雅紀



## 平成26年度北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会



平成26年9月29日(月)13時30分から北海道電気会館において、当協会と（一社）北海道空調衛生工事業協会との共催（電気・空衛連絡協議会）で、北海道開発局営繕部の吉野裕宏部長をはじめ10名の幹部の方々のご出席をいただき意見交換会を実施した。

当協会からは大房孝宏会長他10名、北海道空調衛生工事業協会からは池田薫会長他8名が出席した。

開発局営繕部からは、官庁営繕事業における社会保険未加入対策、建設業法等の一部改正、工事書類の簡素化などについて説明された。この後、協会から①分離発注の継続、②安定的な工事量の確保の2項目を要望した。これに対し営繕部から①について「施工責任、工事に係るコストの明確化が図られ、施工工事業者の育成に資するもので従来から行っているところ。工事内容の規模や地域など諸条件を勘案しながら推進して行く」②について「官庁施設の整備は、老朽した施設が今後増加していく中、既存施設の有効利用を図りつつ、国民の安心・安全の確保などに適確に進めて行くことが重要である。



ご挨拶 北海道開発局 吉野営繕部長

また防災拠点となる官庁施設の防災機能などを図ることや、施設の長寿命化の推進に重点を置き、メリハリのある予算要求・確保に努めていく」とそれぞれ回答いただいた。

### 【議 題】

1. 平成26年度開発局営繕事業の概要
2. 社会保険未加入対策
3. 建設業法等の一部を改正する法律
4. 公共工事の品質確保に関する法律の一部を改正する法律
5. 営繕部における総合評価方式（改正点）
6. 営繕部における円滑な施工体制確保の取り組み
  - (1) インフレスライド運用マニュアル
  - (2) 見積活用方式の試行
  - (3) 法定福利費
  - (4) 工事書類の簡素化
  - (5) 発注の見通し
7. 「公共建築の日」の開催
8. 電気・空衛両協会の概要
9. 要望事項



北海道開発局幹部のみなさん

## 平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会



平成26年10月25日(土)～10月26日(日)の2日間、北海道電気会館において平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会が開催され、全道から52名が受講した。

この講習会は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」をふまえ、(一社)日本電設工業協会が策定した「電気技能労働者育成指針」に基づき、電気工事業界における基幹技能者を認定する講習会で、合格者には平成21年度から経営事項審査のなかの技術力を評価するZ評点に、3点が認められている。

最初に当協会の小川専務理事から「現場では施工方法の実情に精通し作業管理や調整能力を持ち、他の職長と連絡・調整を担う役割が大切です。このため技術者を適切に指導・統率できる登録電気工事基幹技能者の確保と育成が必要である。講習会を通じて施工管理などの知識を十分に理解し、最終日の試験には全員合格して欲しい」と挨拶された。

認定講習会は、全国一斉に行われ当協会の認定講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者の役割や基礎知識など幅広い内容を講義した。受講者は資格取得に向け真剣に取り組み、メモを取りながら熱心に耳を傾けていた。

### 【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (一社)北海道電業協会専務理事  
小川 孝 樹
2. 電気工事基幹技能者の在り方等  
電気工事における新材料・新工法等  
今野 正 章 氏  
(北海電気工事(株)電設工事部GL)
3. OJT教育  
澤田 博 氏  
(三共電気工業(株)常務取締役工務部長)
4. 施工管理・事務管理・工程管理・原価管理  
内山 優 氏  
(株北弘電社技術部 担当部長)
5. 資材管理・安全管理・労務管理  
宮森 慎一 氏  
(拓北電業(株)取締役工事本部長)
6. 品質管理・環境管理  
小川 恒明 氏  
(協信電気工業(株)営業部長)



内山 優 講師



澤田 博 講師



開講挨拶 小川専務



今野 正章 講師



宮森 慎一 講師



小川 恒明 講師

## 会員大会旗が北海道支部（27年度開催）に伝達される。



日本電設工業協会が毎年開催している会員大会が、平成26年10月16日(木)大阪市のリーガロイヤルホテルにおいて全国から約550名の参加を得て盛大に開催された。

山口会長の冒頭の挨拶では「厳しい現状認識と一層の会員の結束を求め、協会の重点事業について優秀な人材確保と技術・技能の継承、分離発注の推進、品質の確保と安全、省エネ・再生可能エネルギーなど4項目について、本・支部、各県の電業協会一体となって推進していく」と述べた。

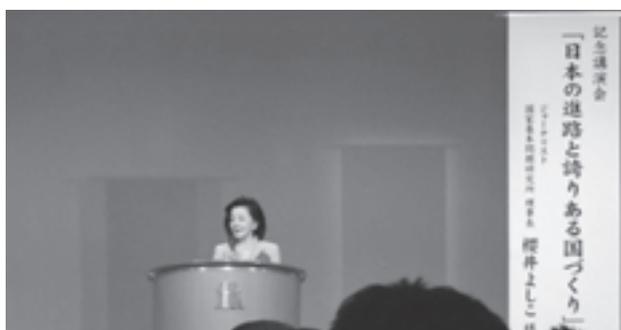
その後、電設協本部の適正受電検討WGより「適正な受電時期を目指した積極的取組」、京都電業協会から「(一社) 京都電業協会の現状」と題してそれぞれ基調報告がなされ、最後に大会決議案の4項目が満場一致で採択された。

### 《大会決議》

アクションプランを推進し、「夢と生きがいのある電設業界」を目指そう。

- ① 優秀な人材の確保と技術・技能の継承
- ② 適正な価格・適正な工期での受注の確保
- ③ 分離発注の推進
- ④ 省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用

そして「日本の針路と誇りある国づくり」と題して、ジャーナリストの櫻井よしこ氏を講師に招き記念講演会が開催された。



講演する櫻井よしこさん

その後、休憩を挟んで開催された会員懇親会では恒例により次期開催地への会員大会旗の伝達式が行われた。

開催地の藤田関西支部長と次期開催地の大房北海道支部長が登壇し会旗が手渡された。さらに北海道電業協会の幹事一同も登壇し『おいでよ！いきいき わくわく北海道』の大きな横断幕を背にして、大房北海道支部長から「平成27年10月1日(木)札幌グランドホテルで会員大会を開催、翌2日(金)には見学会、ゴルフ大会を予定している。今、北海道は官民いろいろな意味で、いきいきしている。多くの会員の皆さまにご来道いただき北海道の自然、景観、食材を堪能していただきたい」と強く呼びかけた。



## ひと・まち・自然きらめくオホーツクの中核都市 ～北見市～

北見市長 櫻田真人



ワッカ原生花園

### ◆まちの概要

北見市は、オホーツク海沿岸から石北峠まで東西約110kmに広がる全国で第4位、北海道で第1位の広さを有しています。当市は、豊かな自然環境や多彩な地域資源に恵まれ、農林水産業を基盤にオホーツク地域の産業・経済の中核都市として発展しているとともに、大学や地域、企業、行政が連携し、地場産業の振興や新産業の育成を図るなど、活力あるまちづくりを目指しています。また、医療・学術・教育・文化など各分野において当地域における中心的な役割を担っています。

### ◆北見で遊ぶ！北見を楽しむ！！

#### 【ワッカ原生花園】

オホーツク海とサロマ湖を隔てる長さ20kmにも及ぶ細長い砂州。この砂州上に広がる「ワッカ原生花園」は、日本最大級の海岸草原です。300種を超える植生の多様性と群落のスケールの大きさに「奇跡の生態系」と評されています。これら多様な生態系を守ろうと、1991年の春、「龍宮街道」と呼ばれる砂州上を走る町道を廃止し、車両の乗り入れを規制しました。2001年10月に北海道遺産に選定されています。

#### 【焼肉】

北見の食肉センターには近隣から肉用牛や豚などが集まります。新鮮な肉を直接仕入れられるこ

とから、市内には多くの焼き肉店があり、各家庭でも庭先や車庫で焼き肉を楽しむ姿が見られます。

北見冬まつりの前日には「北見厳寒の焼き肉まつり」が開催されるなど、焼き肉は北見の文化として定着しています。



北見厳寒の焼き肉まつり

#### 【おんねゆ温泉・山の水族館】

大雪山の裾野に広がる「おんねゆ温泉郷」は、1899年開湯の歴史ある温泉郷です。

アルカリ性で還元力が非常に強く、健康増進だけでなく、美容効果も高いと評判の泉質です。また、2012年7月にオープンした「山の水族館」は、北の大地の魅力を凝縮した特長溢れる水族館です。滝つぼを見上げる水槽や巨大な天然イトウの大水槽など、北の生命の輝きを感じられます。



山の水族館の館内

**【オホーツク北見塩やきそば】**



北見市の豊富で良質な農林水産資源を背景に“食を通じたまちおこし”によって生まれた北見市のご当地グルメ『オホーツク北見塩やきそば』。コクと旨味が詰まった北見産たまねぎとオホーツク産ホタテを使用しています。

**【アドヴィックス常呂カーリングホール】**



数多くのオリンピック選手・トップカーラーを輩出してきたカーリングホールが平成25年11月1日「アドヴィックス常呂カーリングホール」として生まれ変わりました。

国際大会開催規格に準拠し、国内最大の競技場数6シートを備えた専用屋内施設です。

一般の方が利用されているほか、国内トップチームの練習や各種カーリング大会、学校授業、社会人の研修事業、観光体験など幅広く活用されています。



カーリングホール外観

**【まつり・イベント】**

夏には広大なサロマ湖沿岸を駆け抜ける「サロマ湖100kmウルトラマラソン」。「屯田大綱引き」「舞踊パレード」「花火大会」などが夏を盛り上げる「北見ぼんちまつり」。神輿を担いだ若者が川を練り歩く「おんねゆ温泉まつり」。

秋には「きたみ菊まつり」、大地の恵みに感謝しながら、とれたての食材を楽しむ「たんのカレーライスマラソン」。

厳冬に催される「北見冬まつり」、焼き肉の街・北見ならではの「北見厳寒の焼き肉まつり」など、四季を通してさまざまなイベントが開催されています。



たんのカレーライスマラソン



北見ぼんちまつり「屯田大綱引き」



～人輝き、笑顔あふれるまち・もせうし～

妹背牛町長 寺崎 一郎



ま ち の 概 要

### 【まちの概要】

妹背牛町は、総面積48.55平方kmと北海道では3番目に小さな山のないまちで、北海道の母なる川「石狩川」が流れ、おいしいお米をつくるのに適した肥沃な大地が広がっています。

「春には辺り一面に緑が広がり、秋には黄金色に包まれる」季節を色で感じることのできる美しい田園風景が自慢で、この景観を生かしたまちづくりを進めています。

住民が「やすらぎ」や「ふれあい」を実感し、まちを訪れる人々が、「ぬくもり」を感じることで理想のまちづくりをめざし、いま、一步一步あゆみ続けています。

### 【まちの沿革】

明治26年に開拓の鍬が下ろされ、先祖先人のたゆまぬ努力により着実に発展を遂げ、道内屈指の良質米の生産地としてその名を誇るようになりました。

町名の由来はアイヌ語の「モセウシ」で、「モセ・ウシ・イ」(イラクサ・繁茂している・処)(カヤ刈りをする・のが習いである・もの)が転訛したものとされています。当初は「望畝有志」と表記されていましたが、1898年に現行の表記「妹背牛」に変更されました。

### 【妹背牛温泉ペベル】

豊富で良質な純天然温泉が湧き出しており、平成5年の開業以来多くのおみなさまに愛され親しまれています。成分の違う38度と50度の二つの源泉を混合させて適温に調整し、贅沢に掛け流しており、ナトリウム塩化物・炭酸水素塩泉という泉質には、記載できないほどの効用があり、特に美肌効果が抜群で多くの妹背牛美人を生んでいます。



妹背牛温泉ペベル

庭園を眺めながらの露天風呂は、疲れた心と身体が癒されます。是非一度お越しいただき、至福のひと時をお過ごし下さい。

### 【カーリングホール】

夏はふわふわドームを中心とした遊具を多数揃え、子供の遊び場として大人気です。周辺には「妹背牛温泉ペベル」「遊水公園うらら」などがあり、家族で1日楽しむことのできる施設です。

冬期間は全国でも数少ない「屋内カーリング専用施設」で、4シートの広さを保有し、国際大会も開催できる施設です。初心者でもすぐに体験できるよう貸出用具(有料)も充実、指導員(無料)も配置しています。



カーリングホール

### 【遊水公園うらら】

ウォーターライダーや水遊び場をはじめ、木製遊具・バッテリーカーなど各種遊戯施設が完備されている他、27ホールのパークゴルフ場・カーリングホールなど施設も充実しています。



遊水公園うらら

### 【大黒屋菓子舗】

昭和31年（1956年）の創業以来、半世紀を超えて地域の人々に愛されているお店です。

妹背牛産のお米やハーブ、深川産の牛乳や自然卵などを使用。素材本来の味にこだわり、地元の食材の良さを十分に生かしたお菓子をお届けいたします。



### 【ハーブなまちづくり】

「ハーブの香る、まちづくり実施計画」を平成15年に策定。「もっと・せいかつ・う〜んと・しあわせ」をキャッチフレーズに、農業を核とした取り組みが始まりました。

田んぼの畦にハーブを植栽、安全・安心な農業に取り組んでいます。市街地にも色鮮やかなハーブを植え、まち全体にハーブの香る癒される空間づくりに努めています。



香るハーブ

### ■ハーブ焼酎

畦に植えていたハーブ「アップルミント」を刈



り取って原料とし、道内の酒造で醸造した焼酎「葉舞な里から」は、女性でもロックで楽しむことが出来るさっぱりとした

飲み口の焼酎。町内商店はもちろん、有名百貨店でも販売を開始しています。

### ■北彩香

田んぼの畦道に植えたアップルミントから優しい香りが満ちあふれ、その香りが稲穂を害虫から守ります。農薬散布を出来る限り控え、丹精込めて育てたクリーンで安心な妹背牛のお米として固有ブランドの地位を確立しつつあります。



北彩香の稲穂



### ■ルバーブジャム

過去に高校女子バレーで全国制覇を成し遂げ、吉原知子選手など数多くの全日本代表を輩出した「妹背牛商業高等学校」。平成21年3月に惜しまれながら閉校となった同校の最後の卒業生たちとタイアップして作成したロゴを活用して販売しています。

ビタミンC、カルシウム、繊維が多く含まれ、美肌効果抜群のジャムです。



ルバーブジャム



ジャムの原料ルバーブの葉・茎

## 分離発注訪問記



(左) 室蘭市都市建設部の幹部の皆様  
(右) 室蘭電業協会

室蘭電業協会では昨年に引き続き、平成26年11月19日(水)に室蘭市の松本都市建設部長をはじめ港湾部、水道部、室蘭市立病院、室蘭市社会福祉協会の合計五か所において「分離発注の推進」について要望を行って参りました。

室蘭市発注工事については近年、発注工事が激減し、大規模な分離発注に該当する工事自体が少ない状況もあり、分離発注の推進については今後も継続して行っていくよう、要望を行いました。

本年度は、分離発注の推進のほか、大手メーカー一括発注工事について地元企業との共同企業体での入札方式を取り入れ、地元企業にも工事に参加できるよう要望をしておりました。

その結果、今年発注されました消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター設備工事においてはメーカーと地元の電業協会会員企業との共同企業体方式の入札が行われ、地域経済にも大きなメリットをもたらすことができました。

また、市役所庁舎及び関連出先機関、街路灯関係のLED化工事、修繕工事における地元室蘭電業協会会員企業への見積依頼、工事発注を要望してまいりました。

今後も、継続的に分離発注の推進を行っていきながら、地方自治体の自主財源が今まで以上減少することが予想される中、新しい工事財源の確保として市町村が活用できる補助金、リース契約、

レンタル方式での発注方法等の情報交換を行っていくことを当協会より提案させていただきました。

また、平成26年12月1日(月)には、胆振総合振興局室蘭建設管理部が所管する4市に所在する苫小牧電業協会、室蘭電業協会（登別電業協会、伊達電業協会）合同で分離発注の要望を行ってまいりました。

室蘭建設管理部からは、山田副局長、加藤建設管理部長他6名の幹部の皆さまと面談をさせていただきました。

冒頭、胆振日高地区における景気の状態を説明、日々、会員企業では本州、道内大手企業に負けないよう施工体制を確立し、地域に貢献できる高度な技術と資格を持った優秀な技術者の確保と育成に努めている旨をお伝えしました。分離発注のほか入札条件の緩和等についての要望もさせていただき、山田副局長から今後も意見交換会を定期的に開催したらどうかというご意見をいただきました。



(左) 室蘭建設管理部の幹部の皆様  
(右) 室蘭・苫小牧両電業協会

最後になりますが「分離発注の推進」に対し、お忙しいところご対応いただきました各担当者の皆様におかれましては、多大なるご配慮、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

室蘭電業協会 会長 千葉 英也

## 現場からこんにちは



平成26年度北国の省エネ・新エネ大賞（北海道経済産業局長表彰）を受賞

発電所名称	旭川北都ソーラー発電所
場 所	旭川市神居町台場183 (旧北海道旭川北都商業高校 グラウンドの跡利用)
売電開始日	平成25年11月29日
発電容量	1,250kW
年間想定発電量	147万kWh
事業者	北都発電合同会社（SPC）
設計・調達・施工	西山坂田電気(株)
運営保守	西山坂田電気(株)
太陽電池セル	PVG Solutions(株)製
パワーコンディショナー	東芝三菱電機産業システム(株)製
架 台	伊藤組土建(株)、(株)郷葉の共同開 発、建設

東日本大震災の発生以降、再生可能エネルギーへの注目が高まる中、旭川市にある西山坂田電気(株)では環境分野への参入や貢献が重要性を持つと考え、メガソーラー事業に参入することになりました。

旭川市は道内でも雪の多い地域です。太陽光発電にとって積雪はなるべく避けたい条件です。雪に覆われた太陽電池は発電できず、積雪の重みに耐える架台も必要になります。この事業は雪を避けるのではなく、雪を克服する、雪を味方につけるという発想で始まりました。

その要となるのが、1枚のセルで表裏どちらからも発電する“両面発電型太陽光パネル”です。

PVG Solutions(株)が開発した両面発電型太陽電池セル“EarthON（アーン）”を使用したパネルを全面採用し、設置枚数は5,320枚。発電出力は1,250kWです。この両面発電型太陽光パネルの裏面の発電は、地面や後列のパネルからの反射光、散乱光を取り込むことにより実現されます。

冬期間は地面を覆う白い雪で多くの反射が得られますが、春から秋にかけての期間は地面に白色のシートを敷くなどして両面発電の効率を高めています。

太陽光パネルが発電すると、セルの表面温度が

20～30度に上がり、積もった雪をとく効果があると知られていますが、通常の片面発電パネルの場合、一度にまとまった雪が降ってパネルに厚く積もってしまうと、太陽光はほとんど届かなく、融雪効果は期待できません。しかし、両面発電型の場合、パネルの裏面に反射光があたり発電が始まり、パネルの温度が上がり表面に積もった雪がとけやすくなります。これにより通常の片面発電パネルより滑雪性が向上しています。

架台は伊藤組土建(株)と(株)郷葉が共同開発したSEPイ型架台を採用。旭川の積雪量を考慮してパネル下端を地上1.8mと高い位置に上げ、パネル角度を40度にして落雪しやすいように設置。足が少ないスマートな設計で、除雪した雪の堆積スペースを広く取ることが可能な、両面発電に適した架台です。

これらの工夫により、通常の片面発電パネルと比較して1.1～1.3倍の発電量を得ています。

敷地入口には大型ディスプレイを設置し、発電電力量、日射量、CO<sub>2</sub>削減量などが「見える化」されています。市内小学校の社会科見学等、環境教育の場としても利用されています。

この「市民に身近なメガソーラー」は環境保全に貢献することで地域の資源を地域に還元したいという西山坂田電気(株)創業時からの理念を実現しています。

取材 広報委員 木村 賢史、松岡 孝夫



西山坂田電気(株) 西山取締役経営企画室長

# 厚生委員会行事報告



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には常日頃から歌唱部会の活動に多大なるご理解とご協力を賜っておりますことを心から厚く御礼申し上げます。

私が歌唱部会の幹事をやらせてもらう様になり



早いものであつという間に2015年という年を迎える事になりました。

さて、平成26年度の歌唱部会は5月30日アンジェ（札幌市中央区南5西4 南興ビル）、8月29日ナイトバンク（札幌市中央区南5西5 5・5ビル）、11月28日ちゃ茶（札幌市中央区南5西4 バッカスビル）にて開催し最終回は2月だけになりました。



毎回、部会は20名前後の会員の皆様の参加で開催されています。会費は3,000円程度で軽食付飲み放題、カラオケは歌い放題となっております。

歌は演歌ありポップスありロックありと歌い手によって多種多様な曲を歌われてフレンドリーな空間が出来て、とても楽しい時間が過ごせます。

また少しお酒が入ってリラックスし、他の会社の人達と懇親を図るのにとっても良い空間だと思います。

歌唱部会以外の方もお話だけでも良いので是非、一度参加してみてください。

今後ともより良く楽しい会を継続するよう努力致しますのでご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

歌唱部会 幹事 池内 宏行  
(北明電気工業株)



## ボウリング部会



第3回大会 スタート前

平成26年度、最後となる第3回目のボウリング部会が10月24日(金)にノルベサにて行なわれました。

今回は参加者が20名となり、幹事一同多数の方々の御参加をいただき大変嬉しく思いました。

優勝者は北海電気工事(株)の最上さん。2ゲーム目には今大会ハイスコアとなる183を叩き出す素晴らしいプレイで見事優勝を勝ち取りました。

準優勝は(株)北弘電社の十日市さん。若いパワーとここぞという時の勝負強さで約一年半ぶりの入賞を勝ち取っております。

そして今回は3位に拓北電業(株)の大塚さんが見事入賞しております。女性が上位入賞したのは大変久しぶりの事です。

その後、すっかりおなじみの北海しゃぶしゃぶさんで美味しいしゃぶしゃぶとお酒で親交を深めました。

表彰式ではいつもの事ながら参加者の皆様より暖かい拍手と声援と少々の野次を頂き、とても良い雰囲気です。表彰担当の私としても大変ありがたく思っております。

平成26年度はこれで終了となるボウリング部会ですが、来年度も皆様が楽しめる雰囲気作りを目指し、電気工事業界の繋がりを強める事が出来る会にして行きたいと思っております。

それでは皆様、平成27年度第1回ボウリング部会でまたお会い致しましょう。

ボウリング部会幹事  
藤井 大樹 (株)でんこう)

### 平成26年度第3回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成26年10月24日開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンデ	トータル	会社名
優	最上 孝雄	133	183	13	342	北海電気工事(株)
準	十日市 樹	157	129	26	338	(株)北弘電社
1	鈴木 周平	130	142	30	332	北電力設備工事(株)
2	尾形 武志	156	146	8	318	(株)ドウデン
3	大塚 公仁子	106	123	40	309	拓北電業(株)
4	野中 護	104	143	30	307	北関電気工事(株)
5	池内 宏行	111	144	21	297	北明電気工業(株)
6	友重 陽介	143	125	7	282	(株)北弘電社
7	嶋田 幸規	110	151	9	279	(株)北弘電社
8	内田 勝久	122	97	30	279	北海電気工事(株)
9	伊藤 寿教	109	108	30	277	三共電気工業(株)
10	細野 隆平	120	121	15	271	橋本電気工事(株)
(ハイゲーム賞) 183ピン 最上 孝雄						北海電気工事(株)
(大波賞) 41ピン 嶋田 幸規						(株)北弘電社
(小波賞) 1ピン 伊藤 寿教						三共電気工業(株)
(ブービー賞) 畑 千寿代						北盛電設(株)
(ブービーメーカー賞) 吉岡 秀雄						弘和電気(株)
(ラッキー賞) 清水希予志						北明電気工業(株)



(右) 第3回優勝者 最上さん

# ゴルフ部会



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には常日頃よりゴルフ部会の活動に多大なるご理解とご協力を賜っておりますこと、心から厚く御礼申し上げます。

昨年よりゴルフ部会、幹事の一員として働かせて頂いております。何もわからず先輩方の指導の下で、組み合わせの作成、当日の受付、表彰式の準備等を行いました。



第1回優勝の木村さん（右：道タツヲ電気）  
豊部会長（左：北札幌電設）

さて、昨年は第1回例会の北広島ゴルフ倶楽部（参加者33名）で木村さん（道タツヲ電気）の優勝でゴルフ部会の幕開けとなりました。第2回例会は札幌芙蓉カントリー倶楽部（参加者26名）で桜庭さん（北電力設備）の優勝、第3回例会は札幌エルムカントリー倶楽部（参加者27名）で住本さん（道タツヲ電気）の優勝、第4回例会は羊ヶ丘カントリー倶楽部（参加者33名）で桜庭さん

（北電力設備）の優勝（昨年2勝目）となり順調に消化され、事故や怪我が無く無事に終了したことに感謝申し上げます。

今年は優勝をしてみたいと思っております。そこで

1. ゴルフで最も難しいのは、「ゆっくり振

る」「力を抜く」ことである。（ヘンリー・コットン）

2. スコアの70%はピンから120ヤード以内で打たれる。だから、アプローチとパットを重点的に練習すべきだ。（ジャック・ニコラス）

名言を参考に是非皆様も冬期練習を実行してみてください。



今年も昨年同様4回の大会を予定しています。会員の皆様方と、より一層楽しいゴルフ部会

が開催できますように、豊部会長を中心に幹事一丸となって頑張ります。会員皆様方のご協力お願い申し上げます。

ゴルフ部会幹事 佐久間 忠信（北明電気工業株）



第2回と第4回優勝の桜庭さん（北電力設備工事）



第3回優勝の住本さん（道タツヲ電気）

## ～シリーズ～ 「私のいちおし」

日本電設工業(株)北海道支店

執行役員支店長 野本 徳 明



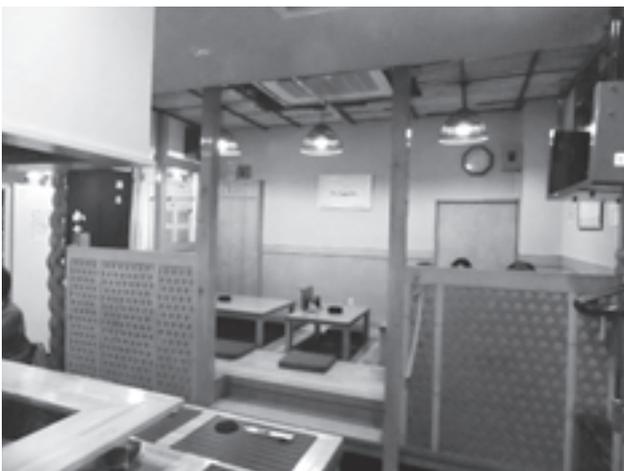
会社から歩いて2分程度の場所にあります。階段を下りて地下のドアを入るとそこは仕事を離れ、軽口をたたきながらのおいしい食材を使った、うまい酒とおつまみを食べられる満足至極の店「酒房

かざ車」です。

仕事で疲れた身体に酒が入れば、いつも絶好調でストレスも吹き飛ばすこと間違いなしの、そんな不思議な力のあるお店です。

当社にも鉄道部・営業部・工務部と昔からの長いお付き合いをしている常連社員も大勢います。

ご近所の皆様等も含めて、いつでも繁盛しており予約しないと残念ながらカウンター席と小上がり席があるのだが、座る席を確保することが出来ないことも度々です。



落ち着いた雰囲気の内店



店主の本條 健一さんと野本支店長

季節に合った豊富なメニューで、一番のおすすめと言われても多すぎて困ってしまうところが悩みです。

そこで大将に、お勧めを聞くと「本日のおすすめは白板に書いていますよ。今日は、『いさき』を仕入れました」と言われたが、どれを食べてもおいしさは間違いなしです。

他にもメニューは旬の魚・肉・野菜を使った料理が豊富にあります。気さくで料理上手な大将は、日本料理店から始まり10年以上の修行をしてから独立し、先日27周年を迎えました。

お客様に美味しい酒と料理を出すことを常に考え、またお客様を待たせることなく提供できるようにアルバイトの女子北大生を使って、てきぱきと切り盛りしている立ち居振舞いには無駄がない。

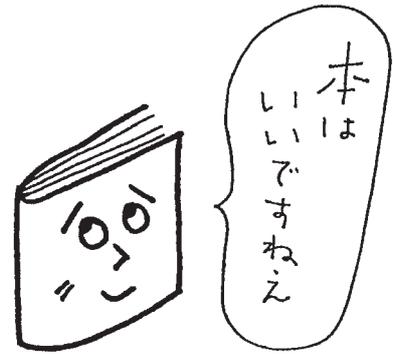
稀には食材を持ち込み無理を言って、その食材にあった料理をしてもらうこともありました。大変ありがたく感謝しています。

是非とも、一度行ってみてください。事前に電話で予約確認することをお勧めします。

店 名 酒房 かざ車  
住 所 札幌市北区北17条西4丁目  
ビル銀の雫17 地下1階  
電 話 011-736-4236  
営業時間 午後5時～午前0時  
定休日 日曜日



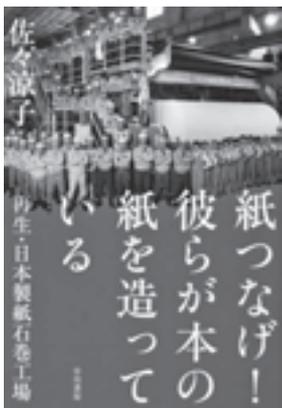
# ビジネスマンは これを読め！



(株)久住書房 社長 久住邦晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め！」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏（北海道書店商業組合前理事長）おすすめの一冊をご紹介します。

## 『紙つなげ！彼らが 本の紙を造っている 再生・日本製紙石巻工場』



著者：佐々涼子

出版社：早川書房

定価：¥1,620

皆様、本を読んでいらっしゃいますか。

良い読書は私たちを確実に成長させてくれます。大人になると、ご自身の仕事に関するもの以外への関心がどうしても薄くなります。でも、幅広い知識は、人間としての自信とゆとりになります。どうぞ、今年もこのコーナーにお付き合いいただき一冊でも二冊でも皆様の読書につながれば幸いです。

さて、2011年の東日本大震災。早くも4年が経過しようとしています。福島原発をはじめとして収束、復興には程遠い状況です。

その東北で奇跡の復興を果たした工場があります。日本製紙石巻工場です。

この本はあまりの惨状に誰もが工場閉鎖を覚悟した絶望的な状況から、まさに奇跡としか言いようがない復興を果たした職人たちの闘いの記録です。

そして、我々に、特に出版に関係する人たちに多くのことを教えてくれた貴重な一冊でもありました。

日本製紙は日本の出版用紙の約4割を担っています。その主力工場がこの石巻工場だったのです。ですから「この工場が死んだら、日本の出版は終わる…」とさえ言われました。

私たちは紙のことを、ほとんど知らなかったことに気がきました。出版社の顔である文庫の用紙、様々な文庫がありますがみんな色が違うのです。

講談社は若干黄色、角川が赤くて新潮社はもっと赤い。この色は長年にわたって作りあげてきたものなのです。だから、石巻がダメなら他から紙をという訳にはいかないのです。出版社は文庫の色に「これが俺たちの色だ」という強い誇りを持っているのです。

リーダーが部下にいつも言っていることがあります。「お前ら、書店さんにワンコインを握りしめてコロコロコミックを買いに来るお子さんのことを思い浮かべて作れ」と。

小さくてやわらかい手でページをめくっても手が切れたりしないように。それはすごい技術だそうです。

子供たちの大ベストセラーのこの本の一枚一枚の手触りに彼ら無名の職人たちの矜持と優しさがこもっています。

彼らによって出版文化が支えられていたのです！

## 業界だより

### 【事業所名の変更】

(平成26年10月1日付)  
○(株)関電工北海道支店

(変更後)  
(株)関電工 営業統括本部 北海道支社  
(変更前)  
(株)関電工 北海道支店

## 理事会・委員会報告

### || 理 事 会

◇平成26年10月24日(金) 12:00~13:30

#### 第4回議題

##### 【協議事項】

1. 平成27年度 電業協会及び電設協道支部役員会等の日程(案)について
2. 定款第21条第5項の規定に基づく報告(職務の執行状況)について
3. 平成26年度経営者懇談会の運営について  
以上提案どおり承認された。

##### 【報告事項】

1. 本部257回政策委員会の概要報告について
2. 北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換の概要報告について
3. 平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催について
4. 組織変更に伴う企業会員の変更について  
(H26.10.1付) (株)関電工北海道支店  
※【事業所名の変更】に記載
5. 平成26年11月~12月行事予定について
6. その他意見交換  
以上概要を報告(小川専務理事)

◇平成26年12月4日(木) 16:30~17:30

#### 第5回議題

##### 【協議事項】

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて

2. (一社)北海道電業協会平成26年度上期決算報告について

以上提案どおり承認された。

##### 【報告事項】

1. 平成27年度電気関係賀司交換について
2. その他意見交換  
以上概要を報告(小川専務理事)

### || 三 役 会

◇平成26年10月6日(月) 12:00~13:00

#### 第7回議題

1. 平成27年度 電業協会及び電設協道支部役員会等の日程(案)について
2. 定款第21条第5項の規定に基づく報告(職務の執行状況)について
3. 平成26年度経営者懇談会の運営について
4. 平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催について
5. 本部257回政策委員会の概要報告について
6. 北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換会の概要報告について
7. 北海道建設審議会の開催について
8. 電業協平成26年度会員大会(大阪市)に向けた準備等について
9. 組織変更に伴う企業会員の変更について  
(H26.10.1付) (株)関電工北海道支店  
※【事業所名の変更】に記載

10. 平成26年11月～12月行事予定について
11. その他意見交換

◇平成26年11月10日(月) 12:00～13:00

### 第8回議題

1. 平成26年度経営者懇談会について
2. (一社)北海道電業協会平成26年度上期決算報告について
3. 平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催結果について
4. 平成26年11月～12月行事予定について
5. その他意見交換

◇平成26年12月4日(木) 15:30～16:30

### 第9回議題

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. 協会三役による官公庁 平成27年新年挨拶回りについて
3. その他意見交換

## 総務委員会

◇平成26年10月22日(水) 12:00～13:20

### 第2回議題

1. 平成26年度総務委員会の事業実施状況(中間報告)
2. 平成26年度経営者懇談会の運営
3. 平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会の開催
4. 北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換会の概要報告
5. 技術系学校の先生との懇談会及び生徒との現場見学会の概要報告
6. その他意見交換

◇平成26年12月8日(月) 16:00～17:30

### 第3回議題

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュール
2. 平成26年度経営者懇談会(兼運営協議会)の

開催報告

3. 平成27年度電気関係賀司交換会の開催
4. その他意見交換

## 経営委員会

◇平成26年12月16日(火) 16:00～17:30

### 第4回議題

1. 第2回議事録の承認
2. 電設協 第258回政策委員会の開催概要
3. 平成26年度経営者懇談会・セミナーの開催概要
4. 平成27年度電気関係賀司交換の開催
5. その他意見交換

## 広報委員会

◇平成26年11月26日(水) 10:00～12:00

### 定例外開催

・新春特集の編集

◇平成26年12月10日(水) 15:00～17:00

### 第3回議題

1. 会報「春号」の編集方針(案)
2. 会報「冬号」の校正
3. その他意見交換

## 技術安全委員会

◇平成26年10月10日(金) 12:00~13:00

### 第2回議題

1. 実施報告
  - ① 平成26年度安全大会の開催概要
  - ② 平成26年度札幌市電気設備施工研修会
  - ③ 技術系学校の先生との懇談会および生徒との見学会
  - ④ 1級実地電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会
  - ⑤ 電気設備施設見学会の実施報告
2. 平成26年度安全パトロール
3. 平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会について
4. 平成26年度技術講習会の開催
5. 実技講習会開催に向けた研修施設の有無及び会員のニーズ調査
6. その他意見交換

◇平成26年12月9日(火) 16:00~17:00

### 第3回議題

1. 実施報告
  - ① 平成26年度登録電気工事基幹技能者認定講習会開催概要
  - ② 平成26年度経営者懇談会の開催概要
2. 平成26年度技術講習会開催
3. 平成26年度安全パトロール
4. 平成27年度技術安全衛生基礎教育講習会(新人研修)の開催
5. その他意見交換

## 事務局日誌

10月4日(土)・公共建築の日フェスティバル2014inモエレ

6日(月) 第7回三役会議

10日(金) 第2回技術安全委員会

16日(木) 電設協会員大会(大阪)

22日(水)・第2回総務委員会

・大会総括第2回ミニ実行委員会

24日(金)・第4回理事会

・基幹技能者講習打合わせ

・第3回ボウリング部会(ノルベサ)

25日(土) 基幹技能者講習会

~26日(日)

29日(水) 北海道建設審議会 大房会長

(かでの2.7)

11月10日(月)・第8回三役会議

・平成26年度経営者懇談会・セミナー

(札幌グランドホテル)

18日(火) 宿泊担当第1回ミニ実行委員

19日(水)・大会総括第3回ミニ実行委員会

・ゴルフ担当第1回ミニ実行委員会

26日(水)・旅行担当第1回ミニ実行委員会

・広報委員会(定例外)

27日(木) 本部常任理事会 大房支部長

(ホテルグランドパレス)

28日(金)・ゴルフ担当打合わせ

・第3回歌唱部会 (ちゃ茶)

一般社団法人 北海道電業協会活動スローガン

1. 優秀な人材の確保と技術・技能の継承を促進し、魅力ある職場作りで将来の電設業会の担い手を育てよう。
2. 適正な価格・適正な工期での受注を確保し、優良な施工体制と品質で、健全で公正な競争市場を構築しよう。
3. 品質と価格の透明性を確保し、顧客に高品質の工事を提供するため、分離発注を強力的に推進しよう。
4. 省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組み、スマート社会の実現に貢献しよう。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本号の発行にあたり、年頭ごあいさつを北海道開発局営繕部長 吉野裕宏様にお願いしました。公務多忙にもかかわらずご寄稿いただき厚く御礼申し上げます。今後とも、当協会に対しご指導とご鞭撻を頂きます様、お願い申し上げます。

また、新春特集として旭山動物園副園長 中田健裕様のお話を掲載いたしました。お忙しい中、色々な話を頂きありがとうございます。紙面の都合で折角のお話の一部を割愛せざるを得なかったことをお詫び申し上げます。全国でブームとなった過程、そしてブーム以降に来園数は減少してもお客さんの満足度は上がっている現状など、経営者などに参考になるお話だと思っております。

2015年が会員の皆様にとりまして、実りのある、良い一年でありますことをお祈り申し上げて、編集後記とさせていただきます。

広報委員長 萩本 哲夫



発行 平成27年1月  
一般社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区南1条東1丁目3番地  
パークイースト札幌6階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp